

SHOKEI GAKUIN UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

尚絅学院大学大学院

2025 大学院案内

大学院[総合人間科学研究科]

●心理学専攻[臨床心理学コース/心理行動科学コース] ●人間学専攻 ●公共社会学専攻 ●健康栄養科学専攻



より高度で先端的な教育・研究を通じ 社会生活の多様な問題解決に、果敢に挑む

建学の精神・教育目的

尚綱学院は、1892年アメリカ合衆国のバプテスト派教会が派遣した女性宣教師たちによって創設されました。彼女たちは校名の出典である「衣錦尚綱」と、聖書の言葉に示された人間のあり方を建学の精神とし、内面を豊かに磨き、謙遜な心を持って他者と共に生き、社会に貢献する女性の教育に力を注ぎました。

尚綱学院の教育は、授業や行事などすべての教育活動がキリスト教の精神に基づいています。聖書を通して愛と奉仕の心を育み、社会の中で「他者と共に生きる」ことを学びます。

このような建学の精神・教育理念を踏まえ、教育目的を学則の第2条で以下のように定めています。「本大学院は、キリスト教の精神に基づき人格の陶冶をめざし、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、精新な学識と研究能力を養うことによって、広く文化の向上と人類の福祉に貢献できる人材を育成することを目的とする。」

社会人のための履修環境も整っています

本大学院では、職業を持ちながら学びを深めたい社会人入学者も、専攻する教育課程を全日制の学生と同じく、全て履修できるよう配慮しています。長期休暇期間や土曜日の開講、その併用による履修での、必要単位取得が可能です。また、学費総額は同額で在学年数を最大4年間とする「長期履修制度」を設けています。また、一定の条件を満たした方は、修了後に最大10万円が給付される教育訓練給付制度（一般教育訓練）を利用することができます。（申請中）

※ここでいう社会人は、受験時に有職・非有職であるかを問わず、社会経験2年以上の方を対象としています。詳細については、入試課（アドミッションズオフィス）までお問合せください。

尚綱学院大学大学院

心理学専攻
人間学専攻
公共社会学専攻
健康栄養科学専攻

臨床心理学コース
心理行動科学コース

ディプロマ・ポリシー 卒業認定・学位に関する方針

本大学院では以下の能力を身につけた人材を養成します。

- 1.課題の探求と解決を行うための自立性、創造性、探求心を養う能力
- 2.人類の福祉に対して、社会人として自ら考えて行動できる能力
- 3.国際人としてのグローバルな視点を持ち、異文化を理解し尊重できる能力

自らの所属する専攻の到達目標を達成し、また修士論文の審査に合格し、大学院学則に定められた所定の単位を修得した学生には、修士の学位を授与します。

各専攻の到達目標は、以下のとおりです。

○心理学専攻

心理専門職者の業務に必要な高度の知識と技能を習得し、人間の心をめぐる諸問題の解決にあたることのできる能力を身につける。

○人間学専攻

- 1.キリスト教精神の深い造詣、高度な幅広い教養、分野横断的な知見、高い倫理性を有している。
- 2.人間の共生に関わる幅広い課題探究、共生の原理を創出しようとする力を有している。
- 3.共生社会の構築に向かう総合的リテラシー（情報の解釈・分析・考察・判断・表現の力量）を有している。

○公共社会学専攻

- 1.公共的諸課題を発見し、総合的かつ分析的に問題を把握する能力。
- 2.社会学、環境学、経済学、経営学、教育学、文化人類学などの分野横断的な社会科学的知識の修得とそれらを活用する能力。
- 3.社会調査法を修得し、質的及び量的な資料を収集し、エビデンスに基づいて分析する能力。
- 4.多様な他者とコミュニケーションし、協働できる能力。
- 5.社会科学的な学問的知見とエビデンスに裏付けられた具体的な課題解決策を提示する能力。

○健康栄養科学専攻

栄養と健康に関わる専門職業人の業務に必要な高度の知識と技術を習得し、栄養と健康の諸問題の解決にあたることのできる能力を身につける。

カリキュラム・ポリシー 教育課程の編成・実施に関する方針

○心理学専攻

教育課程を「総合科目」と、基礎心理学系、応用・実践心理学系の2つの分野からなる「専門科目」から構成する。

- 1.「総合科目」には本専攻の教育目標を達成するのに必要不可欠な知識及び技能の修得を目指す必修科目を配置し、最終的に修士論文の作成を行う。
- 2.「専門科目」は、心理に関する基礎を学ぶ基礎心理学分野と、それを実践応用する方法を習得または模索する応用・実践心理学分野の2つに分ける。これらの分野のいずれの科目も全て選択科目とすることによって、それぞれの学生が自らの関心に沿って学習できるようにする。

○人間学専攻

- 1.学位授与に相当する幅広く深い学識及び研究能力を修得できる科目群を体系的に構成する。
- 2.学修課題をコースワークとして体系的に履修する必修科目・選択科目、特論科目・演習科目を適切に編成する。
- 3.研究成果・学術情報の適切な収集、研究活動の適切な蓄積、研究報告書・研究発表の学術性、研究倫理等を修得する特別研究を設置する。

○公共社会学専攻

- 1.必修科目の公共社会学特論および公共社会学演習I・IIでは、分野横断的な5つの基本的視角（社会的格差、ジェンダー、産業・労働、環境、市民社会・地域社会）と基盤的な知識を修得する。

- 2.選択科目の特論科目では、各ディシプリンの専門性・体系性を重視し、研究関心を深めるために、環境、地域、教育・文化、経済・経営を焦点とする科目群を配置する。
- 3.選択科目の演習科目は方法論的視角と各論的トピックスを学び、課題解決志向的な研究方法を修得し、報告・討論を通して、相互批判する力を涵養する科目群を環境、地域、教育・文化、経済・経営を焦点に配置する。
- 4.社会調査関連科目では、調査計画の立案、仮説の立て方にはじまり、質的・量的データの収集・分析の技法を修得する。
- 5.特別研究は、主教員と複数の副教員からなる複数指導制のもとで、フィールドワークにもとづいて市民社会・地域社会との公共社会学的な対話を実践し、エビデンスに裏付けられた課題解決策を提示する修士論文作成の指導を行う科目として配置する。

○健康栄養科学専攻

教育課程を「総合科目」と、栄養科学、健康栄養デザインの2つの領域からなる「専門科目」から構成する。

- 1.「総合科目」には本専攻の教育目標を達成するのに必要不可欠な知識及び技能の修得を目指す必修科目を配置し、最終的に修士論文の作成を行う。
- 2.「専門科目」は、栄養に関する基礎を学ぶ栄養科学領域と、それを実践応用する方法を習得または模索する健康栄養デザイン領域の2つに分ける。これらの領域のいずれの科目も全て選択科目とすることによって、それぞれの学生が自らの関心に沿って学習できるようにする。

アドミッション・ポリシー 入学者受け入れに関する方針

本大学院の求める学生像は、以下のとおりです。

- 1.キリスト教の愛と奉仕の精神に基づき、他者への深い思いやりと理解、さらに協力、支援に努める人。
- 2.専門分野に対する強い好奇心と探求心を抱き、高い目的意識を持って研究課題に取り組む人。
- 3.人間の健康な生活の営みに関わる諸問題を科学的に研究し、その成果を実践に生かそうとする人。

各専攻の求める学生像は、以下のとおりです。

○心理学専攻

- 1.人間を「こころ」と「からだ」の統合の視点から捉え、専門的・実践的な知識と技術を習得する姿勢を強く持っている人。
- 2.先端的な知識の習得と研究を通して、人間の諸活動や社会生活に関わる、多様な問題や課題を解決しようとする人。
- 3.心理学の分野での研究者となることを目指し、それに必要な基盤的知識や研究方法を学ぼうとする人。

○人間学専攻

- 1.人間についてより高度で総合的な研究を深めたい人。
- 2.人間の様々な問題に対応することができる分野横断的な力量を身に付けたい人。
- 3.共生社会構築に向けた指導的役割を果たせる高度な知的素養を身に付けたい人。
- 4.キリスト教精神について深い造詣を身に付けたい人。
- 5.教員としての資質能力をさらに高めたい人、教育関係職にあり学び直したい人。

○公共社会学専攻

- 1.公共的諸課題に対する感受性と問題意識を有する人。
- 2.公共的諸課題解決のために、積極的に社会科学的知識や社会調査法を習得しようとする意欲のある人。
- 3.多様な人々と積極的にコミュニケーションし、対話を行う意欲のある人。
- 4.学問の知見、研究の成果を活かして、地域づくりの担い手となる意欲のある人。

○健康栄養科学専攻

- 1.先端的な知識の習得と研究を通して、地域における健康問題を解決しようとする人。
- 2.健康栄養分野の学問に対する強い好奇心と探求心を抱き、高度な知識と能力をもった社会人を目指す人。
- 3.健康栄養科学の分野での研究者となることを目指し、それに必要な基盤的知識や研究方法を学ぼうとする人。



PROFILE

1988年3月 東北大学大学院農学研究科博士課程修了(農学博士)
 1988年4月 日本学術振興会特別研究員(PD)
 1989年4月 東北大学農学部助手
 1988年6月 東北大学農学部助教授(後、同大学院農学研究科助教授)
 2001年4月 東北大学大学院生命科学研究所助教授(後、准教授)
 2009年4月 尚綱学院大学教授(同大学院教授兼任、2018～2021年同副学長)
 2023年4月 尚綱学院大学大学院総合人間科学研究科長就任

研究科長
赤坂 和昭 教授
 Akasaka Kazuaki

尚綱学院大学大学院の特色

人間社会の持続に関わる問題を「こころ」と「からだ」の健康、そして「共生」と「公共」という視点から捉える

情報やモノにあふれる現代では、人間側の準備が追い付かず、また度重なる災害や疫病は社会や技術の脆弱性を衝いて大きな禍をもたらしています。このような逼迫した諸問題に対処するため、本大学院総合人間科学研究科は、人間に直接関わる問題を「こころ」と「からだ」の健康、さらに「人間の共生」と「公共性」という視点から捉え、健全な人間社会の持続に関わる諸問題を科学的に研究し、実践に活かすことを目標としています。

具体的には、学部教育との発展的な連続性を保つとともに、社会人入学者には実務経験から得られた実践的な知識を継続的に補佐し、それぞれの分野で求められている専門的・実践的な知識と技術を教授します。

多様な課題解決に必要とされるWhy、What、Howの思考を醸成

本大学院は、学問に対する強い好奇心と探究心を抱き、常に高い目的意識を持って諸課題の解決に果敢に挑戦し、それを成し遂げることができる国際性豊かな高度専門職業人の育成を目指しています。キーワードは、Why、What、Howの思考の醸成です。これはグローバル化する現代社会とそれに伴う人間の諸活動や社会生活に関わる、多様な問題や課題解決の上で特に必要とされる能力です。この点に最も重きを置いた教育を効果的に推進していきます。また研究者になるための最初の階梯となる基盤的な知識、研究の作法も教授し、優れた研究者の養成にも努めます。

東北の地域産業、地域行政、地域保健等への貢献に寄与

昨今の社会情勢の変化のスピードは目覚ましく、それに伴い学問諸分野の学際化の更なる進展が求められています。このような中、本大学院が果たすべき使命は、人間の生涯にわたる「こころ」と「からだ」の健康、さらに「人間の共生」と「公共性」に関わる、質の向上と知識の蓄積です。そしてより高度で先端的な教育・研究を通じ、今日ならびに未来に遭遇するであろう諸問題に果敢に挑戦し、問題解決に導ける人材の育成と考えます。そのような人材が東北地域を中心として、指導的役割を担いながら地域産業、地域行政、地域保健等に貢献することを期待し、その輩出に努めます。

心理学専攻

Psychology

心の悩みや非行・いじめなど行動上の問題への専門的な観点からのケアなど、心理学を専門的に研究し、柔軟で鋭い洞察力・分析力を備えている心理専門職者への期待が高まっています。本専攻では、その期待に応えるべく、専門的な学問の背景や隣接分野の知識・技能を併せ持つバランスの取れた人材、単なる推測や主観的判断を廃し、データに基づいた科学的な考察ができる人材を養成します。

人間学専攻

Humanics

人間存在をその文化性・社会性・歴史性において宗教学・神学・倫理学などの分野から専門的に研究し、国際人としてのグローバルな視点を持ち、異文化を理解し尊重できる能力即ち共生感覚に優れ指導的な役割を担う人材を養成します。

公共社会学専攻

Public Sociology

人口減少に悩む地域社会の課題から、気候変動などの地球規模の問題に至るまで、持続可能な開発目標(SDGs)をめぐるさまざまな公共的諸課題に現代社会は直面している。社会学を中心に、環境学、経済学・経営学、教育学、文化人類学などと連携し、市民社会・地域社会の人々との対話を重視して、社会に開かれた新しい学問、「公共社会学」を専門的に研究する人材を養成します。

健康栄養科学専攻

Human Health and Nutritional Science

自由な発想で思考し、広い視野に立って、栄養・食生活の諸問題解決に当たることのできる専門職業人の育成が早急に求められており、本専攻では、その要請に応えるべく、社会人を積極的に受け入れ、本専攻で得た知識・経験を各自の持ち場で活かすことができる、高度な専門知識と技術を持つ人材を養成します。

修了生の主な研究テーマ

心理学専攻

- ①アレキシサイミアとストレス症状との関連 一過剰適応に着目した仮説モデルの検討一
- ②自閉スペクトラム症傾向の高い子どもを持つ親の心理的特徴 一就労移行期以後に着目して一
- ③母親のメンタライジング能力が児童虐待傾向に及ぼす影響について
- ④Story Making Group(SMG)が大学生の自我同一性形成に及ぼす影響：言語分析を用いて

人間学専攻

- ①新しい優生思想に関する考察 一障がい者のエンハンスメントから福祉を考える一
- ②「公娼」の社会史 一近現代艶史の成立とその解体にみる公娼制度論の変遷一
- ③アランの学校教育論における「子ども」概念と伝統的教育の意義 一人間形成にとつての教養を軸として一

健康栄養科学専攻

- ①近年における学生の和食文化の継承と食意識・食行動に関する研究
- ②胃術後患者における入院中及び退院後の栄養管理に関する研究
- ③循環器疾患患者の栄養指導効果の検討に関する研究

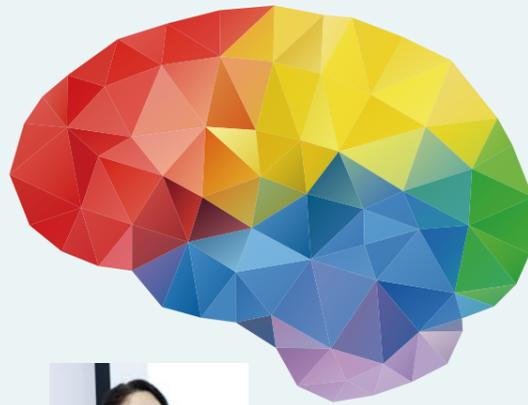
※公共社会学専攻は2023年4月開設のため、修了生はいません。

心理学専攻 Psychology

(2025年度のカリキュラム、教員構成については変更される場合があります)

心理学の知を高め、 社会に役立つ人材を育てる

現代は、物質的な豊かさよりも精神的な豊かさを重視する「心の時代」といわれます。しかし同時に、ストレス、不安、犯罪、精神疾患等の心の問題が蔓延し、多くの人がそれに苦しんでいる時代でもあります。学校、職場、家庭といった現代社会の多様な場面で生じている問題に対処していくためには、豊かな心を持った一人の人間であるとともに、臨床心理学の知見と技術、幅広い心理学の知識、さらには生物学的な基礎や社会科学の素養が必要になってきます。心理学専攻では、他者に寄り添うところと科学的手法を武器に、社会に貢献できる人材を養成します。



心理学専攻主任
教授
小泉 嘉子

教育の特色

研究と実践の融合

それぞれのコースで中心とするところは異なりますが、いずれのコースでも、学問的なテーマに科学的な研究方法でアプローチしていくという研究と、現場での実践の両方を重視しています。理論ばかりの頭でかちになるのではなく、また経験一辺倒になるのではなく、両方をバランスよく学ぶことで、研究の成果を実践に還元し、また実践の中に研究のテーマを見出していくという研究と実践の融合を目指しています。

多様な現場に対応できる力を養う

現代の心理学が用いられている多様な現場に対応していくためには、多くの実践を積むことで、現場のノウハウを蓄積していくこと、未知の現場であっても、既知の知識や理論に基づいて、正しく判断して行動していくことができる論理的に考える力の両方が必要になってきます。演習授業や実習、個別指導などを通して、一人ひとりの学生の力を引き出していくことを心がけています。

時代の要請に応える心理専門職を育てる

臨床心理学コースでは、公認心理師及び臨床心理士の受験資格が取得できます。

臨床心理学コース

臨床心理学コースでは、公認心理師及び臨床心理士の資格取得を目指し、臨床心理学の基礎的な理論と技術とともに、様々な領域における心理臨床の理論と実践について学びます。実践力を高めるため、実習を重視するとともに、理論面での学習や研究にも力を入れています。臨床心理学はもちろんのこと、認知、発達、学習、社会といった幅広い専門領域の心理学を学ぶとともに、問題に対して科学的にアプローチできる研究法も身に付けます。

心理行動科学コース

認知心理学、学習心理学、発達心理学、社会心理学などの実証的分野を中心とする心理学を幅広く学び、人間の心理や行動について、実験・調査・観察などの科学的方法によって研究するコースです。現代社会において重要視される、科学的研究法や統計分析のスキルといった、データに基づいた心理学的研究が可能な高度な専門的知識を身に付けることで、一般企業をはじめ、国や地方公共団体などで活躍できる人材を養成します。

修了生インタビュー



日野 ひろみさん
2018年度修了
(臨床心理学コース)
宮城県教育庁義務教育課
スクールカウンセラー 勤務

大学院での研究テーマは『場面緘黙症経験者の現状と課題』でした。実際に場面緘黙症を経験した方々に対しインタビューをさせていただき、研究を進めました。インタビューでは、共通している点と異なっている点のはっきりと分かれていくところが大変興味深かったです。現在私は、宮城県でスクールカウンセラーをしています。一見同じような悩みや診断名を受けていたとしても、その人の性格や育成歴、家庭環境等、背景は様々であり支援の方法も一つではありません。クライアントさんに合う支援をするためには、話をしっかりと聞き、理解を重ねていくことが何より大切です。研究で得ることができたこの視点を、常に意識しています。

在学生インタビュー



手塚 奏宇さん
(臨床心理学コース)
尚綱学院大学 心理・教育学群
心理学類 卒業

心理学類での学びを通して、支援を必要とする方の願いや後悔に心理学の知見を用いて寄り添い、その一人の方を深くまで受容できる人間になっていきたいという思いが大きくなっていきました。それが大学院への進学を志した理由です。大学院では、ネガティブな場面に直面し、他者からの指導を経て、自己成長に至るまでの内的・心理的なプロセスを見る研究を行いたいと考えています。人はどのように自己成長感を得るに至れるのか、また人と人での自己成長の過程に共通する部分はあるのかを見たいです。それを見ることで、相談しに来る方の自己成長欲求に少しでも寄り添い、共感することができる心理士に近づけるのではないかと思います。

心理学専攻カリキュラム

	臨床心理学コース	心理行動科学コース
必修	臨床心理学特論 臨床心理面接特論I(心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論II 臨床心理査定演習I(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理査定演習II 特別研究I・II など	心理学総合演習I・II 特別研究I・II
選択	心理学研究法特論A 臨床心理学研究法特論 心理療法特論 犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習I・II・IV など	心理学研究法特論A・B 認知心理学特論 学習心理学特論 神経生理学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) 発達心理学特論 社会心理学特論 障害者(児)心理学特論 など

※掲載の科目は一例です。

↓
修士論文提出(審査)

↓
大学院修了・修士(心理学)

TOPICS

- 心理学専攻臨床心理学コースは、
- 公認心理師の受験資格が取得可能(学部での取得単位確認の上検討する)
 - 臨床心理士の受験資格が取得可能

臨床心理相談室「ティクヴァ」

本学大学院の臨床心理学コースの教員および大学院生が、地域社会の様々なニーズに対応する、各種相談業務を実施しています。



附属の実習棟「臨床心理相談室(ティクヴァ)」

教員紹介

臨床心理学コース



教授
川端 壮康

現在の主な研究テーマ
①攻撃性の過剰な抑制が意欲を減退させるメカニズムの解明とその介入技法への応用 ②ピア・サポートにおける方法と問題 ③攻撃性と感情調節が自傷行為に及ぼす影響について



教授
三好 敏之

現在の主な研究テーマ
①心身症、障害児、発達障害児における臨床動作法 ②心身症における箱庭療法 ③発達障害児・者の心理的支援



教授
渡部 敦子

現在の主な研究テーマ
①対人恐怖心性の喚起要因について ②臨床実践における倫理意識



心理学専攻主任
教授
小泉 嘉子

現在の主な研究テーマ
①認識のモダリティ・情報のなわばり・ボラリティネス(配慮表現)の理解の発達に関する研究 ②教育現場における「ほめ」モデルと教員向けトレーニングプログラムの構築 ③幼児の健康・食生活の課題と対策に関する研究



教授
水田 恵三

現在の主な研究テーマ
①原発災害後のソーシャルキャピタルが生き甲斐に及ぼす影響 ②地域コミュニティの活性化支援



教授
田島 裕之

現在の主な研究テーマ
①高い労力的コストを要する大きな強化子への選好に関する研究 ②ほめられ経験の効果に関する研究



特任教授
加藤 道代

現在の主な研究テーマ
①親の発達 ②コペアレンティング(Coparenting) ③子育て支援



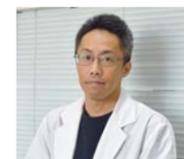
准教授
内田 知宏

現在の主な研究テーマ
①緩和ケアにおける家族支援 ②学校領域における精神保健教育の普及、啓発



講師
一條 玲香

現在の主な研究テーマ
①技能実習生のメンタルヘルスと支援 ②結婚移住女性のメンタルヘルスと異文化適応



准教授
池田 和浩

現在の主な研究テーマ
①概括化した記憶を改善する転換的語り直しの認知基盤および心理行動的波及効果の解明 ②実践的「ほめ」モデルの構築およびトレーニングプログラムの提供

人間学専攻 Humanics

(2025年度のカリキュラム、教員構成については変更される場合があります)

自己を究め 他者と繋がり 社会と関わる 深く 鋭く 斬新に 人間の共生原理を求めて思索の旅へ

知識基盤型社会といわれて久しいですが、昨今では知識循環型社会と命名する研究者もいます。そこでの知識の中身や質、そもそも知識が基盤になるとはどういうことか?それらで構成される社会とはどんなものか?これらを改めて問い直すのも思想の役割です。

人間学専攻ではこのように様々な思想を辿りながら、これまでにない思考力を身につけて自己・他者・社会を問い直すことを目標としています。社会的な実践力もこうして身につきます。キャリアコンサルティング系の世界では昨今、地頭力という造語が使われ始めているようですが、この造語に便乗するならば、まさに地頭力をつけていくことを最も得意とするのが人間学専攻であるといえるでしょう。



人間学専攻主任教授
太田 健児

教育課程の概要と特色

人間の共生を座標軸にしたカリキュラムポリシー

人間学専攻のカリキュラムは、「特論科目」「演習科目」「研究指導科目」の3科目区分で構成されています。いずれも人間の共生を座標軸にして、その諸課題について、その成立背景の歴史的・文化的・社会的要因から分析していきます。

広範な学問分野に基づいた高度な素養の修得

人間の共生に関わる諸問題は、細分化された単一の学問分野で対応することが困難になっています。人間学専攻は、宗教学、聖書学、哲学、倫理学、人間形成学、さらには社会学、経済学、法学など多くの隣接する学問分野から人間の共生に関わる諸課題を学際的に研究します。

研究能力を高める特別研究

特別研究では、研究倫理の修得、研究課題・研究計画の設定、先行研究の文献・資料の収集、研究ノートの作成を経て、修士論文作成にいたる具体的な研究活動を行います。日常的な研究指導のもと、これら一連の活動によって高度な研究能力を身につけます。

修了生インタビュー



亀井 知樹さん
2020年度修了
巨理町立逢隈中学校 勤務

宗教学や哲学、社会学、教育学など幅広い分野を通して、「人」という存在を考察・研究出来ることに加え、社会科の教職員を目指していたこともあり、教壇に立つ者としても一人の人間としても深い知識を有している必要性を感じたことが、進学を決めた大きな要因です。キリスト教を中心とする宗教学や哲学・思想を学びながら、人間について考察し、「学校」という場や学校教育について研究を行いました。研究活動を通して、幅広い知識や多角的な考え方など人間理解が出来たと感じます。また、多くの先生方と近い距離感で関わることができ、説明内容が丁寧で分かりやすく、質問・疑問点に対して快く答えてくれる環境が印象的でした。

在学生インタビュー



佐藤 愛斗さん
尚綱学院大学 人文社会学群
人文社会学類 卒業

卒業論文では、国民国家形成時のポーランドとチェコの歴史を比較しました。チェコの多様なあり方を受け入れる国民性に魅力を感じ、チェコへの留学を志し、その準備として大学院に進学しました。大学院では複数の学問的視点から現在世界が抱える諸問題についての知見を得ると共に、どうすれば多様な人々が共生できる社会を形成することが可能かということも学んでいます。また、修士論文執筆のため、チェコの宗教史についての研究を進めています。将来は、チェコと日本をつなげる架け橋になれるような職に就きたいと考えています。

人間学専攻カリキュラム

	必修科目			選択科目	
	特論科目	演習科目	研究指導科目	特論科目	演習科目
1年次	人間共生特論	人間共生演習	特別研究	宗教学特論 聖書学特論 近代思潮 現代思潮 制度経済・政策学特論 教育哲学特論 認知科学特論 法学特論	宗教学演習 聖書学演習 人間存在基礎論演習 哲学・現代思想演習 制度経済・政策学演習 教育哲学演習 認知科学演習 法学演習
2年次					
必修科目: 12単位				選択科目: 18単位以上	

↓
修士論文提出(審査)

↓
大学院修了・修士(学術)

取得可能な資格

- 教育職員専修免許状
- ・中学校教諭社会科専修免許
- ・高等学校教諭公民科専修免許

教員紹介



人間学専攻主任教授
太田 健児

現在の主な研究テーマ
① フランス第三共和制期の政教分離(ラシテ)によって宗教から分離された道徳理論とその教育とを研究
② その当時の道徳教育論の翻訳とそれによるフランス教育史の再構成
③ 社会学と哲学との「間」の研究



教授
今井 誠二

現在の主な研究テーマ
① 路上生活者自律支援
② 古代キリスト教文学の社会史的研究



教授
上村 静

現在の主な研究テーマ
① 古代ユダヤ社会における差別の問題と、ディアスポラの民として差別されてきたユダヤ人の生き残りの知恵についての研究
② 「宗教」概念の成立と「近代国民国家」の成立の相互関係、および「政教分離」という概念の欺瞞性についての研究
③ 「死海文書」の翻訳と発行



教授
箭内 任

現在の主な研究テーマ
① フランクフルト学派による批判的社会理論の今日的意味
② 公共圏における宗教的・形而上的の思惟
③ 差異・多様性に基づく政治哲学的考察



教授
栗原 由紀子

現在の主な研究テーマ
① 契約責任の時的・人的・質的拡張についての基礎的研究
② サブスクリプション及び定期購入契約における消費者被害の研究
③ 消費者法・競争法における「消費者概念」の研究

公共社会学専攻 Public Sociology



市民社会や地域社会との対話をめざす新しい社会学

公共社会学専攻は、公共社会学の名称をもつ、大学院としては日本初の教育課程です。地域の災害復興への貢献の経験、SDGs教育の推進など、ポスト・コロナ時代の社会的公共的課題を見据えながら、環境学・経済学・経営学・教育学・文化人類学等との連携をはかり、既存の社会学を市民社会との対話をはかる開かれた公共社会学として革新します。

現場に根ざした地域づくりの新たな担い手、「現代社会が直面する公共的諸課題の解決をめざして学際的に探究し、コミュニケーション能力と発信能力を持って、持続可能な社会の形成・発展に貢献できる人材の養成」をめざします。



公共社会学専攻主任
特任教授
長谷川 公一

教育課程の概要と特色

到達目標

公共社会学専攻の到達目標は、以下の能力を身につけることです。

- 1 公共的諸課題を発見し、総合的かつ分析的に問題を把握する能力
- 2 社会学、環境学、経済学、経営学、教育学、文化人類学などの分野横断的な社会科学的知識の修得とそれらを活用する能力
- 3 社会調査法を修得し、質的及び量的な資料を収集し、エビデンスに基づいて分析する能力
- 4 多様な他者とコミュニケーションし、協働できる能力
- 5 社会科学的な学問的知見とエビデンスに裏付けられた具体的な諸課題解決策を提示しうる能力

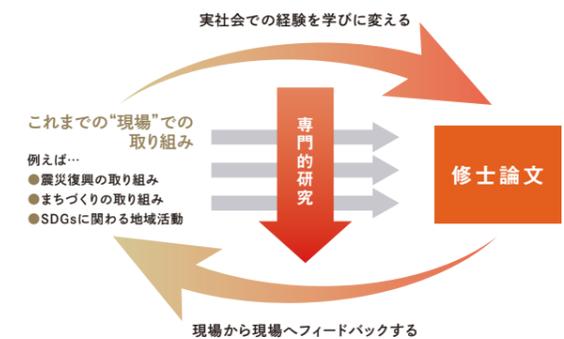
カリキュラムの考え方

必修科目及び選択科目は、それぞれ主に理論的・総論的視角を学ぶ特論と、主に方法論的視角と各論的トピックスを学ぶ演習から構成しています。

- 1 必修科目の公共社会学特論および公共社会学演習I・IIでは、分野横断的な5つの基本的視角(社会的格差、ジェンダー、産業・労働、環境、市民社会)と基盤的な知識を修得します。
- 2 選択科目の特論科目では、各ディシプリンの専門性・体系性を重視し、研究関心を深掘りするために、環境、地域、教育・文化、経済・経営を焦点とする科目群を配置しています。
- 3 選択科目の演習科目は方法論的視角と各論的トピックスを学び、課題解決志向的な研究方法を修得し、報告・討論を通して、相互批判する力を涵養する科目群を環境、地域、教育・文化、経済・経営を焦点に配置しています。
- 4 社会調査関連科目では、調査計画の立案、仮説の立て方をはじめ、質的・量的データの収集・分析の技法を修得します。
- 5 特別研究では、主教員と複数の副教員からなる複数指導制のもとで、フィールドワークにもとづいて市民社会・地域社会との公共社会的な対話を実践し、エビデンスに裏付けられた課題解決策を提示する修士論文作成の指導を行います。

学びのイメージ

公共的な対話を通して、共同性の創出の場から、地域づくりの担い手を育成する



在学生インタビュー



猪野 拓歩 さん

尚綱学院大学 人文社会学群
人文社会学類 卒業

大学4年次に受講した長谷川公一先生の『社会思想』に感銘を受けたことが、進学のかきかけになりました。「人口が減少しても地域を維持することは可能なのか」という問いを解き明かすため、地元の伝統文化を保存する方々の活動に着目し、調査研究を行っています。また、経営学や文化人類学、社会教育といった他分野の先生方の講義やフィールドワーク、大学の活動への積極的な参加を通じて、新たな知識の発見を目指しています。人口が減少する今後の社会の中で、伝統文化を保存・維持する団体や、世代を超えた交流ができる場が今後ますます必要になってくるはず。そのような機会の創出に、私の研究が活かされることを期待しています。

公共社会学専攻カリキュラム

必修科目			選択科目	
特論科目	演習科目	研究指導科目	特論科目	演習科目
公共社会学特論 社会調査法特論	公共社会学演習I 公共社会学演習II	特別研究(修士論文)	環境社会学特論 災害社会学特論 地域社会学特論 環境経済学特論 地域経営学特論 情報社会学特論 教育社会学特論 生涯教育特論 文化人類学特論	SDGs教育演習I SDGs教育演習II 災害復興論演習I 災害復興論演習II 地域社会学演習I 地域社会学演習II 環境経済学演習I 環境経済学演習II 地域経営学演習I 地域経営学演習II メディア文化論演習I メディア文化論演習II 多文化理解演習I 多文化理解演習II 生涯教育演習I 生涯教育演習II 公共人類学演習I 公共人類学演習II 社会調査研究法演習
必修科目: 16単位			選択科目: 14単位以上	



取得可能な資格

- 専門社会調査士

教員紹介



公共社会学専攻主任
特任教授
長谷川 公一

現在の主な研究テーマ
 ● 公共社会学の諸課題の探究 ● 環境社会学の体系化 ● 気候変動政策の政策決定過程の比較社会学的研究(2024年度退職予定)



教授
張 涛

現在の主な研究テーマ
 ● ビジネスエコシステムの構築とオープンイノベーション ● ESG投資の効果と課題 ● 共有価値の創造(CSV)



准教授
高木 竜輔

現在の主な研究テーマ
 ● 原発事故に伴う被害とコミュニティ喪失 ● 原発被災地の地域再生



特任教授
田中 重好

現在の主な研究テーマ
 ● 地域社会 ● 災害 ● 公共性 ● 共同性 ● 東日本大震災(2024年度退職予定)



教授
松田 道雄

現在の主な研究テーマ
 ● 生涯学習・社会教育事業・地域社会における交流を促進する学習プログラムの実践研究 ● 地域人材と資源をつないで活動展開を創出するコーディネートの実践研究 ● 創造性を高めるグループワークの実践研究



准教授
菊池 哲彦

現在の主な研究テーマ
 ● 近代都市における視覚的メディア文化史的研究 ● メディア文化における「孤独」の系譜 ● デジタル・メディア文化におけるパーソナリゼーションに関する研究



教授
黄 梅

現在の主な研究テーマ
 ● 異文化理解・多文化共生に関する大学生の意識形成の要因と課題 ● 日本の大学における学位プログラムの多様化の実態と社会的機能 ● 高等教育における社会人の学習ニーズと構造的課題



准教授
東 愛子

現在の主な研究テーマ
 ● 気候変動政策、電力部門の脱炭素化 ● 再生可能エネルギーの大量導入を可能とする電力市場制度設計 ● 再生可能エネルギーを起点とした地域づくり



准教授
稲澤 努

現在の主な研究テーマ
 ● 集団移住後のコミュニティ再編と地域・民俗文化 ● 宮城県山元町における震災後の民俗文化とコミュニティ

健康栄養科学専攻 Human Health and Nutritional Science

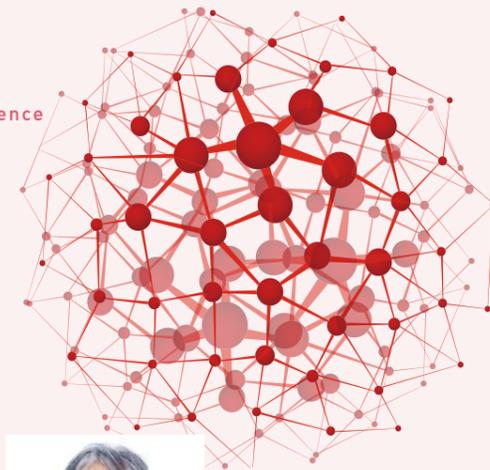
(2025年度のカリキュラム、教員構成については変更される場合があります)

食と栄養の学びを深め、 得た知識を地域社会に還元したい

現代人の「栄養・食生活と健康づくり」を支援するプロフェッショナルと、食と栄養の諸課題に広い視野で取り組む教育者・研究者の養成・育成が求められています。

本専攻は、東北初の私立大学栄養系大学院として創設されました。保健・医療・福祉・介護など、社会の様々なステージで展開される健康づくり支援システムを、栄養・食生活の分野から評価し、同時に適正なシステムの構築に寄与する、高度な専門知識と技術を持った人材の養成を目指しています。

本専攻の修士課程を修了した方たちは、健康と栄養について基礎から応用・実践の先端技術を学び、研究・調査を通して修得した問題解決能力を地域の病院や学校などで活かしています。



健康栄養科学専攻主任
教授
赤坂 和昭

教育課程の概要と特色

■ 高度な専門知識を体系的に修得できるカリキュラム編成

栄養科学領域と健康栄養デザイン領域のいずれを学ぶにあたって、課題を俯瞰できるよう「健康栄養科学概論」を1年次に配置しています。「特別研究」では、興味を持って選択したテーマを学生が研究し、高度な専門職や研究者に必要なとされる能力を養成します。指導教員はあらゆる角度から研究をサポートします。

■ 専門科目はすべて選択できるので、幅広い視野の学びを展開

現代の栄養関連分野の諸課題を広い視野から捉えられるよう、研究テーマの領域に関わらず、専門科目はすべて選択できます。特定の分野に偏ることなく、幅広く学ぶことが可能です。健康栄養分野のより高度な専門知識と技術、研究・指導能力を持った人材を養成します。

■ 社会人の方も学びやすい土曜日開講・長期履修制度

仕事をしながらキャリアアップや知識を深めたい社会人の方たちも学びやすい履修制度です。夏期休暇期間の集中講座や土曜日の開講、長期履修制度(2年間の学費で3~4年学ぶことが可能)を採用しています。全日制の学生と同じように、必要な単位取得が可能です。

修了生インタビュー



後藤 未希さん
2021年度修了
仙台青葉学院短期大学
栄養学科講師

調理分野の助手として勤務していた際、ライフステージ別の栄養管理や調理学の魅力を改めて感じ、大学教員を目指すことにしました。教員には、専門的な知識に加え、より科学的な視点が求められることから、大学院進学を決意しました。研究テーマとしたのは「和食文化の継承および伝承」です。先生方とアンケート内容や統計解析の手法、結果の捉え方についてディスカッションを繰り返したことで、科学的な視点を常に意識し、専門的な知識と研究スキルを磨くことができました。これらの経験を教育や啓蒙啓発活動に活かし、和食文化継承の一助となるよう尽力していきたいです。

在学生インタビュー



高橋 優子さん
尚絅女学院短期大学 家政科
食物栄養専攻 卒業

短大卒業後、栄養士として学校給食の現場で働き、管理栄養士免許取得後は医療・介護の分野へ進みました。大学院進学へのきっかけは、これまでの現場で得た実践的な知識に加えて、より信頼性の高い専門性やサポート力の必要性を痛感したためです。大学院では、高齢者自身が「自分らしく生活していけること」を目指し、自立や支援に関する研究に取り組んでいます。国が2025年を目処に推進している地域の包括的な支援・サービス提供体制構築において、栄養士の立場や視点から関わられることを探究するとともに、地域に貢献できる研究を進めているところです。

健康栄養科学専攻カリキュラム

	必修科目	専門科目
1年次	健康栄養科学概論	〔栄養科学領域〕 栄養科学演習 〔健康栄養デザイン領域〕 健康栄養デザイン演習
2年次	基礎演習 総合演習 特別研究	健康栄養デザイン論I 健康栄養デザイン論II 健康栄養デザイン論III 健康栄養デザイン論IV
必修科目: 18単位		選択科目: 12単位以上

修士論文提出(審査)

大学院修了・修士(栄養学)

活躍の場

医療機関、保健施設、学校、福祉施設、自治体、行政機関 等
他大学院、博士課程進学

主要科目

健康栄養科学概論

栄養学の役割について理解を深め、現代社会が抱える食と健康に関わる諸課題を、各専門分野の担当教員がそれぞれ提起し、問題解決の方法を考察します。

栄養科学特論I(栄養生理学)

栄養科学の基盤としての現代生物学の全体像をアップデートし、様々な生命現象、現代栄養学、疾病の仕組み、新しい治療の可能性について、批判的な視点を含めて理解を深めます。

健康栄養デザイン論II

調理中のミネラル、ビタミンや食味の変化、栄養価の高い調理法の検討、おいしさの構成要素の探求等、おいしさと健康の関わりについて、調理科学的に追及します。

教員紹介



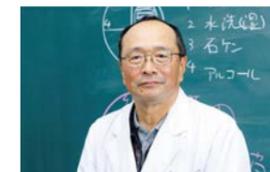
研究科長・健康栄養科学専攻主任
教授
赤坂 和昭

現在の主な研究テーマ
①遠隔位不正識別法を用いた昆虫フェロモン等の絶対立体構造の決定、および異性体組成分析 ②トコトリエンール及びトコフェロールの逆相HPLC法による一斉分析法の開発 ③デジタルカメラ、ビデオ等を用いた食品成分の簡易分析、品質評価法の開発



教授
星 清子

現在の主な研究テーマ
①現代日本人の栄養状態(カルシウム不足と脂質エネルギーの高い食事)とメタボリックシンドローム発症リスク ②食物繊維摂取による大腸発酵と短鎖脂肪酸の生理作用



教授
杉山 芳宏

現在の主な研究テーマ
①食品に付着する微生物の食品衛生的調査 ②特にサルモネラに関して



教授
東門田 誠一

現在の主な研究テーマ
①分子生物学 ②生化学 ③骨代謝学



教授
西内 美香

現在の主な研究テーマ
①人体における微量元素「亜鉛」の働きについて



特任教授
助川 淳

現在の主な研究テーマ
①脂肪酸結合タンパク質(FABP)の大腸菌による産生および生物活性の測定 ②骨形成の新規制御機構の解明:細胞膜裏打ちタンパク質4.1Gによる一次繊維の形成 ③ミトコンドリア特異脂質カルジオリピンとミトコンドリア代謝に対する酸化ストレスの影響



准教授
柳沼 梢

現在の主な研究テーマ
①女性勤労者の職業性ストレスに関する研究 ②大学生の食生活状況に関する研究 ③魚介類を介した環境由来化学物質曝露に関する研究

2025年度 尚絅学院大学大学院 入学試験要項(概要) 詳細は「大学院入学試験要項」をご確認ください。

入試区分	一般選抜		社会人選抜	
	修士課程 <small>前期日程</small>	修士課程 <small>後期日程</small>	修士課程 <small>前期日程</small>	修士課程 <small>後期日程</small>
募集人員	心理学専攻、人間学専攻、公共社会学専攻、健康栄養科学専攻 各3名		心理学専攻、人間学専攻、公共社会学専攻、健康栄養科学専攻 各若干名	
出願資格	<p>出願者は、以下のいずれかの資格を満たしていなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大学を卒業した者、および2025年3月に卒業見込みの者。 2 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者、および2025年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。 3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2025年3月に修了見込みの者。 4 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者、および2025年3月に修了見込みの者。 5 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者、および2025年3月に修了見込みの者。 6 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者、および2025年3月に修了見込みの者。 7 本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で、2025年4月1日までに22歳に達している者。 <p>※出願資格3、4に該当する者、および外国籍を有する者は以下の条件に該当していることが前提となります。また、出願前に事前相談を必要とします。試験日の1ヶ月前までに入試課(アドミッションズオフィス)にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「出入国管理および難民認定法」による留学の在留資格を取得できる者。 2 外国の公館による身分の保証を受けた者。 3 確実な身元保証人がいる者。(身元保証人は日本国内に居住する独立した生計を営む成年者で、本人の学費や一身上に関することなどを含む一切の責任を連帯して負うことが出来る者) <p>※出願資格7に該当する者は主に「短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程、各種学校の卒業(見込み)者やその他の教育施設の修了(見込み)者など大学卒業資格を有していない者」が該当しますが、これにより出願しようとする場合は、事前に履歴書・最終学校の成績証明書等学力を証明する書類・卒業証明書の提出および本大学院における審査が必要となりますので、試験日の1ヶ月前までに本学入試課(アドミッションズオフィス)にお問い合わせください。</p>		<p>出願者は、次の1を満たしている者のうち、2～7のうちのいずれか1つを有している者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2025年4月1日に卒業後2年以上経過している24歳以上の者で次のいずれかを満たしている者。 <ol style="list-style-type: none"> 1 2年以上の実社会経験を有する者。 1に準ずると認められる者。 ※出願前にお問い合わせください。 2 大学を卒業した者。 3 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者。 4 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。 5 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者。 6 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者。 7 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者。 <p>※出願資格4、5に該当する者、および外国籍を有する者は以下の条件に該当していることが前提となります。また、出願前に事前相談を必要とします。試験日の1ヶ月前までに入試課(アドミッションズオフィス)にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「出入国管理および難民認定法」による留学の在留資格を取得できる者。 2 外国の公館による身分の保証を受けた者。 3 確実な身元保証人がいる者。(身元保証人は日本国内に居住する独立した生計を営む成年者で、本人の学費や一身上に関することなどを含む一切の責任を連帯して負うことが出来る者) 4 本大学院において個別の入学資格審査により認められた者。 <p>※出願資格6に該当する者は主に「短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程、各種学校の卒業(見込み)者やその他の教育施設の修了(見込み)者など大学卒業資格を有していない者」が該当しますが、これにより出願しようとする場合は、事前に履歴書・最終学校の成績証明書等学力を証明する書類・卒業証明書の提出および本大学院における審査が必要となりますので、試験日の1ヶ月前までに本学入試課(アドミッションズオフィス)にお問い合わせください。</p>	
提出書類	<ol style="list-style-type: none"> 1 志願書(志願票、写真票) 2 卒業・修了(見込み)証明書、または学位授与(見込み)証明書 3 成績証明書 4 研究計画書(入学後の研究目標と抱負、研究構想など2,000字程度) 		<ol style="list-style-type: none"> 5 卒業論文要旨(日本語1,000字程度) <ul style="list-style-type: none"> ※卒業論文あるいは、それに準ずる研究報告書などがある場合は、その要旨を提出 6 履歴書 <ul style="list-style-type: none"> ※一般選抜の出願資格3、4または社会人選抜の出願資格4、5に該当し、外国籍の者は外国人留学生調査、パスポートの写し、在留カード(または外国人登録証明書)の写し、身元保証書、経費支弁書を提出 	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ●筆記試験(専門科目) ※心理学専攻では、コース別に筆記試験の問題を出題します。 <ul style="list-style-type: none"> 【心理学専攻】心理学から出題 【公共社会学専攻】社会学、教育学、人類学、経営学、環境学などの関連分野から出題 【健康栄養科学専攻】栄養学、臨床栄養学、医学概論、食品学、公衆衛生学などの分野から出題 ●筆記試験(小論文) <ul style="list-style-type: none"> 【人間学専攻】 ●筆記試験(英語) ※心理学専攻では、コース別に筆記試験の問題を出題します。 <ul style="list-style-type: none"> 【心理学専攻】、【人間学専攻】、【公共社会学専攻】、【健康栄養科学専攻】 ●面接「研究計画書」を中心に研究への意欲や将来性について確認する。(一人30分程度) <ul style="list-style-type: none"> 【心理学専攻】、【人間学専攻】、【公共社会学専攻】、【健康栄養科学専攻】 		<ul style="list-style-type: none"> ●筆記試験(専門科目) ※心理学専攻では、コース別に筆記試験の問題を出題します。 <ul style="list-style-type: none"> 【心理学専攻】心理学から出題 【公共社会学専攻】社会学、教育学、人類学、経営学、環境学などの関連分野から出題 【健康栄養科学専攻】栄養学、臨床栄養学、医学概論、食品学、公衆衛生学などの分野から出題 ●筆記試験(小論文) ※心理学専攻では、コース別に筆記試験の問題を出題します。 <ul style="list-style-type: none"> 【心理学専攻】、【人間学専攻】、【公共社会学専攻】、【健康栄養科学専攻】 ●面接「研究計画書」を中心に研究への意欲や将来性について確認する。(一人30分程度) <ul style="list-style-type: none"> 【心理学専攻】、【人間学専攻】、【公共社会学専攻】、【健康栄養科学専攻】 	
出願期間	10/15(火)～10/24(木)必着	2/3(月)～2/17(月)必着	10/15(火)～10/24(木)必着	2/3(月)～2/17(月)必着
試験日	前期日程 11/2(土)	後期日程 2/22(土)	前期日程 11/2(土)	後期日程 2/22(土)
合格発表日	前期日程 11/6(水)	後期日程 2/28(金)	前期日程 11/6(水)	後期日程 2/28(金)
入学手続締切日	前期日程 11/13(水)	後期日程 3/7(金)	前期日程 11/13(水)	後期日程 3/7(金)

特別選抜(外国人留学生)の受験を希望する場合は、事前相談期間前に入試課(アドミッションズオフィス)に連絡し、相談日を決めてください。
 【事前相談期間】前期:8月30日(金)～9月13日(金) / 後期:11月29日(金)～12月12日(木) ※土日祝日除く
 特別選抜(外国人留学生・教会推薦)【※人間学専攻のみ】の詳細は入学試験要項をご確認ください。

2024年度 大学院入学初年度納付金(実績)

	心理学専攻(両コースとも)		合計
	前期	後期	
入学手続金			
入学金	*240,000	—	240,000
授業料	260,000	260,000	520,000
施設設備費	200,000	0	200,000
後援会費	10,200	10,200	20,400
同窓会前納金	900	900	1,800
オリエンテーション経費	3,980	0	3,980
合計	715,080	271,100	986,180

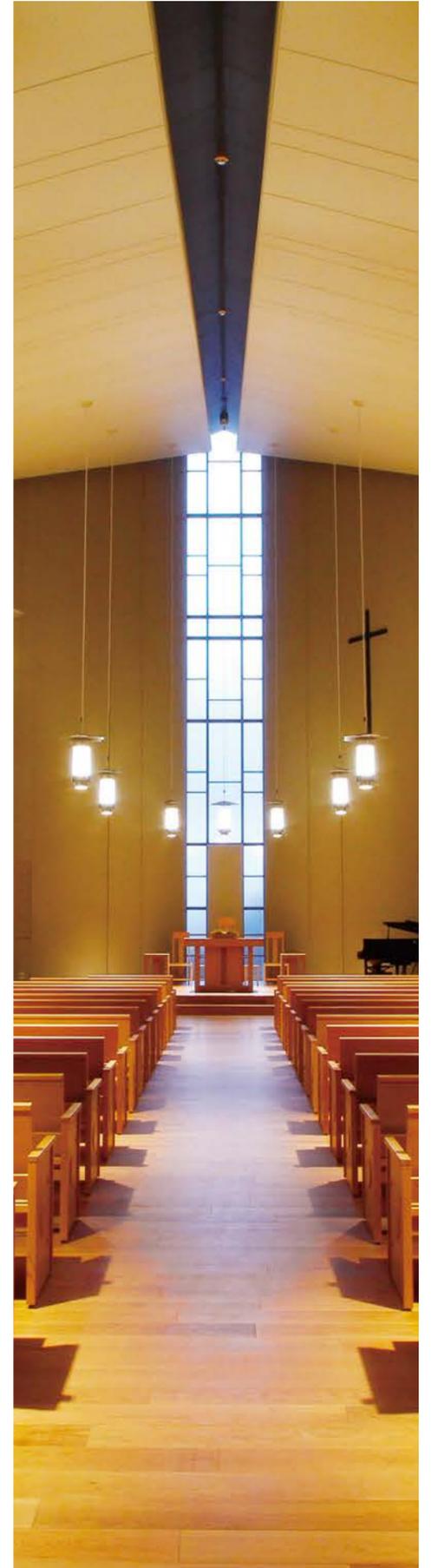
	人間学専攻		合計
	前期	後期	
入学手続金			
入学金	*240,000	—	240,000
授業料	260,000	260,000	520,000
施設設備費	50,000	0	50,000
後援会費	10,200	10,200	20,400
同窓会前納金	900	900	1,800
オリエンテーション経費	3,980	0	3,980
合計	565,080	271,100	836,180

	公共社会学専攻		合計
	前期	後期	
入学手続金			
入学金	*240,000	—	240,000
授業料	260,000	260,000	520,000
施設設備費	50,000	0	50,000
後援会費	10,200	10,200	20,400
同窓会前納金	900	900	1,800
オリエンテーション経費	3,980	0	3,980
合計	565,080	271,100	836,180

	健康栄養科学専攻		合計
	前期	後期	
入学手続金			
入学金	*240,000	—	240,000
授業料	260,000	260,000	520,000
施設設備費	260,000	0	260,000
後援会費	10,200	10,200	20,400
同窓会前納金	900	900	1,800
オリエンテーション経費	3,980	0	3,980
合計	775,080	271,100	1,046,180

*本学卒業生(女子短期大学の卒業生を含む)は入学金を免除します。

奨学金制度	
名称	クリスチャン奨学生
応募資格	入学時に経済的支援が必要なクリスチャン家庭の者 ●世帯総所得500万円以下(給与と所得者以外は所得金額210万円以下) ●教会牧師と役員会の推薦
種類	給付
受付期間	入学前
減免額	入学金免除(24万円)
注意事項	出願前の申請が必要となりますので、事前に入試課(アドミッションズオフィス)までご連絡ください。





SHOKEI

尚綱学院大学大学院

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1

TEL : 022-381-3311 (入試課 [アドミッションズオフィス] 直通)

FAX : 022-381-3325

E-mail : nyushi@shokei.ac.jp

マークはSHOKEIの“S”をモチーフに、未来へ羽ばたく翼をのびやかに表現しています。時代が求める人材育成と教育改革のシンボルとして、尚綱学院はこのマークとスローガンのもとに心をひとつにし、これからも邁進してまいります。



<https://www.shokei.jp/>



相談会情報、
オープンキャンパス情報など
お届けします。

ACCESS

① JR仙台駅から …… 国道286号を「山形方面」へ 約20分

② 仙台南ICから …… 国道286号を「ゆりが丘」へ 約5分

① JR仙台駅から …… 西口バスプール8番のりば 約40分

② 地下鉄長町南駅から …… 3番のりば 約20分

③ JR南仙台駅から …… 西口のりば 約15分

① 仙台空港アクセス鉄道「南仙台駅」下車、
西口のりばから、「尚綱学院大前」行きバスに乗り換え 約30分



尚綱学院大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。